

## 当社発電設備に係る点検・調査結果を踏まえた今後の取り組みについて [概要版]

平成19年3月30日に経済産業省原子力安全・保安院に提出した、「当社発電設備に係る点検・調査結果についての報告書」で示した点検・調査結果を踏まえた、当社における今後の取り組みは、従来から実施していたものも含め、以下のとおりである。

### 1. コンプライアンス意識の一層の定着・浸透

- ① 「よんでんグループ行動憲章」等の周知徹底による法令遵守および企業倫理の徹底を基本とした事業運営の継続
  - ・全従業員に対する「よんでんグループ行動憲章」等の周知・徹底 ほか
- ② 常設委員会等における継続的対応
  - ・常設のCSR推進会議、コンプライアンス推進委員会において、適宜、社外有識者を加え、コンプライアンス定着・浸透のあり方等につき検討
  - ・コンプライアンス相談窓口等を活用した調査の継続
- ③ 従業員に対する法令遵守や企業倫理の徹底など社会的責任の遂行要請
  - ・全従業員に対する今回の点検・調査結果を踏まえた社長メッセージの発信
  - ・今回の点検・調査結果等の社内新聞への掲載（全従業員、OBに配布）
- ④ コンプライアンスに関する教育・研修
  - ・全従業員を対象としたeラーニングを使った事例研修の継続実施
  - ・日本原子力技術協会が所有するeラーニングを活用した安全文化醸成に係る教育の実施（原子力部門） ほか
- ⑤ グループ大でのコンプライアンスの推進
  - ・「よんでんグループコンプライアンス推進協議会」を中心としたコンプライアンスの推進
- ⑥ 電力中央研究所等による原子力安全文化に係る組織風土評価の継続実施（原子力部門）

### 2. 「風通しの良い」コミュニケーションの仕組み作り

- ① 対話機会の充実
  - ・経営層や発電所・支店幹部と従業員との対話・懇談のさらなる充実により、風通しの良い職場風土づくりを徹底
  - ・不適切事案が確実に報告されるような「言い出す仕組み・環境」の徹底 ほか
- ② 法務・コンプライアンスに係るサポートの徹底等
  - ・内部通報制度（コンプライアンス相談窓口）の活用など問題事例を掘り起こし解決するための仕組みのさらなる活用促進 ほか
- ③ 規制機関や自治体との良好なコミュニケーション
  - ・愛媛県、伊方町への原子力関係情報の提供、公開の仕組みの継続実施 ほか

### 3. 品質保証面のデータ・知見の蓄積と活用（原子力部門）

- ① 原子力施設情報公開ライブラリー（ニューシア）の保全品質情報に関し、各社へ水平展開が必要となるようなハード・ソフト面の不適合について登録（電力大の取り組み）
- ② ニューシアの運用にかかる日本原子力技術協会との連携強化（電力大の取り組み）
- ③ PWR事業者連絡会（JPOG）等における電力各社およびメーカーとの情報共有化、予防対策検討（電力大の取り組み）
- ④ ニューシア情報、不適合情報などの当社グループ会社等との情報共有の継続実施

以上